

# 補強土（テールアルメ壁）工法

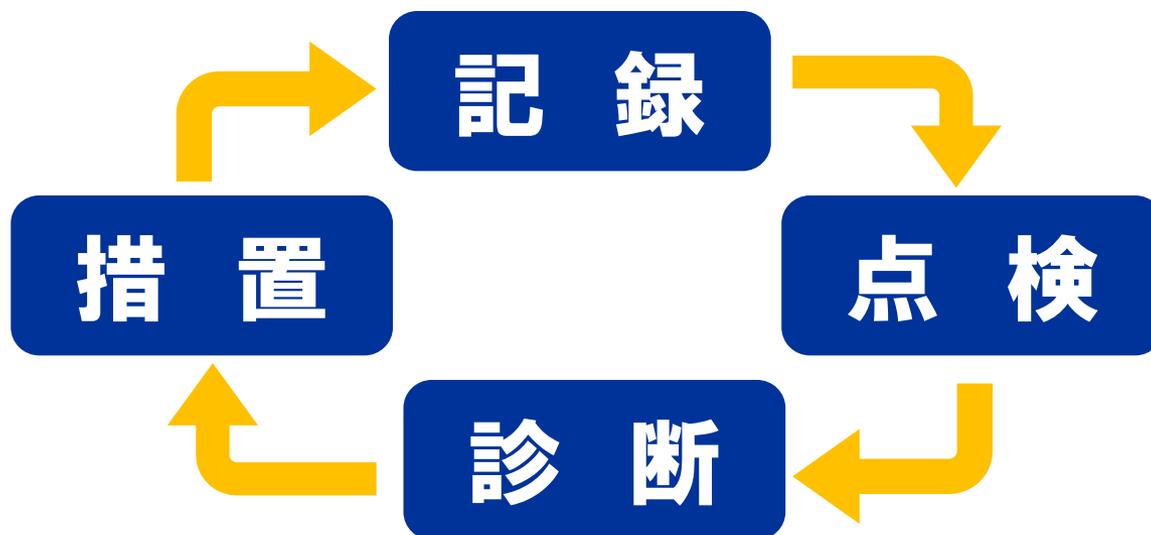
## 維持管理に関する取組みについて

JFE商事テールワン株式会社

# 維持管理の高まり（背景）

## 【社会資本老朽化の進行と対策】

- 高度経済成長期に社会資本が集中的に整備
- 建設後既に30～50年の期間を経過、今後急速に老朽化
- インフラ更新の必要性が高まる



# 道路土工構造物を取り巻く維持管理の基準・文献体系 (国の動き)

## 基準

### 道路土工構造物**技術基準** (H27.3制定)

道交法第29及び30条を適用し、道路土工構造物の新設又は改築する場合の一般的技術基準

## 要領

### 道路土工構造物**点検要領** (H29.8制定)

道路法施行令第35条の2第1項第二号の規定に基づく点検の基本的事項・・・**高さ10m以上は5年に1回を義務化**

## 参考図書

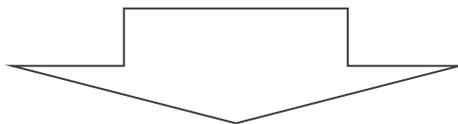
### 道路土工構造物**点検必携** (H30.7発刊)

点検実務者のための参考文献

# 道路土工構造物を取り巻く現場の動き

## ■ 5年に1回の点検義務化 . . .

- ・ 何をどう点検するの？ 診断・報告は？  
⇒点検結果が区々（着目点・判断・報告様式がバラバラ）
- ・ 点検業務を受注する際の積算どうする？  
⇒調査受発注の明確な基準が少ない

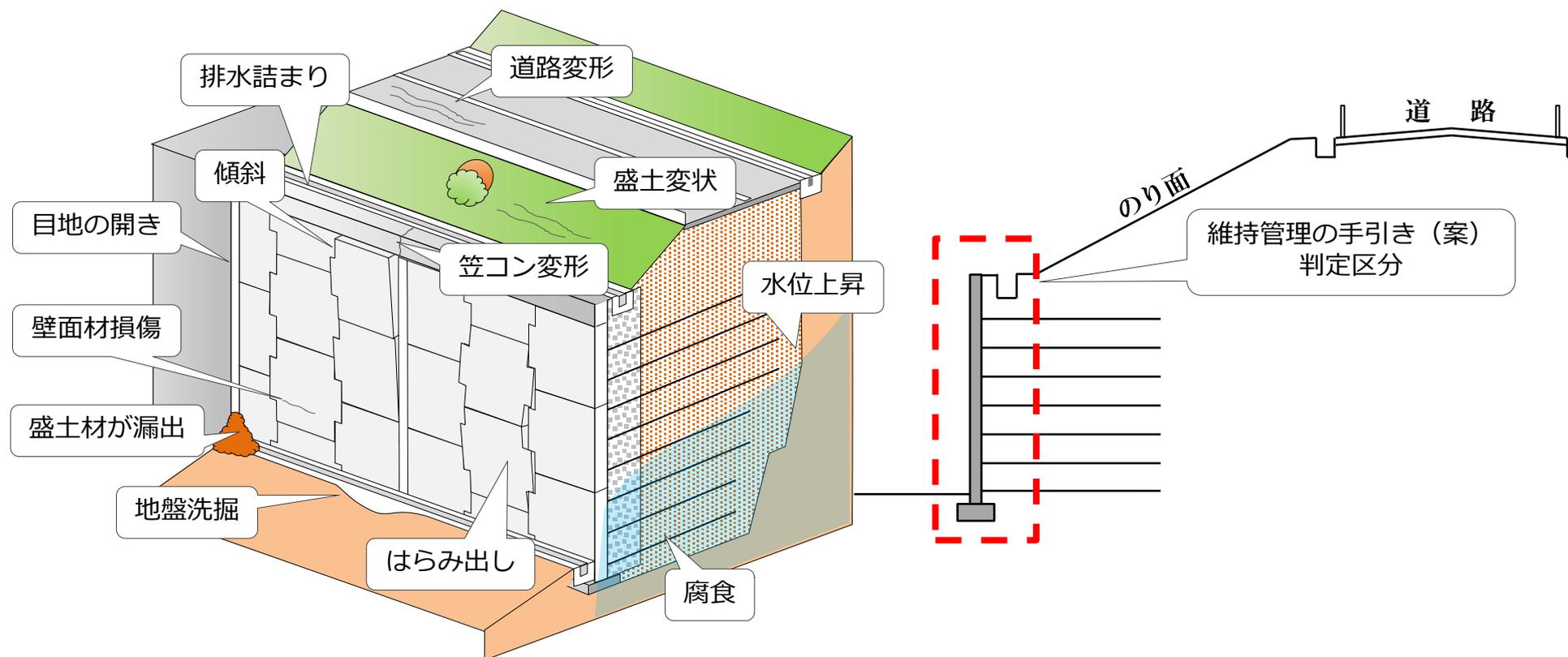


【点検要領を補う資料が必要】

⇒点検時の目線の平準化，調査歩掛案策定が急務

# 日本テールアルメ協会：維持管理の手引き（案）の策定

- ・ 点検の着目点を図表でまとめ、変状事例を着目点別に整理
- ・ 常時におけるテールアルメ壁の健全度診断（案）を策定



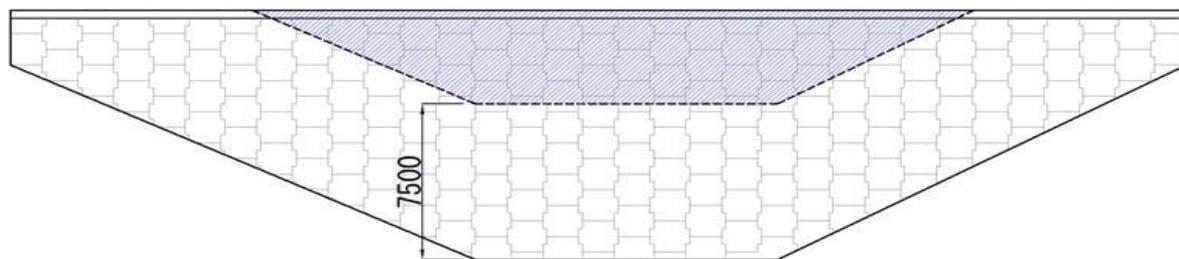
# 目視点検歩掛の策定

- ・ テールアルメの点検業務を実施する際の作業歩掛
- ・ テールアルメの設置環境や壁高を考慮して策定

補強土（テールアルメ）壁工法  
目視点検歩掛り（協会案）

平成31年3月

一般社団法人 日本テールアルメ協会



## 【ポイント】

- ・ 壁高区分：7.5m
- ・ 設置区分：壁前面が道路か否か
- ・ 調査対象の図面の有無

## 新技術：モニタリング部材の紹介（追加機能）

### ①テールアルメFS

- 盛土内部の異常・不具合を「見える化」
- 設計値を超える過剰な荷重が加わりFSコネクティブが破断すると、壁面材の変状サイン（赤印）が見える仕組み

### ②KDパネル

- テールアルメの点検用パネル
- 壁の外側から盛土内部に、簡単にアクセスできる新技術
- 補強材の摩擦抵抗力や耐久性のチェックが簡単に可能

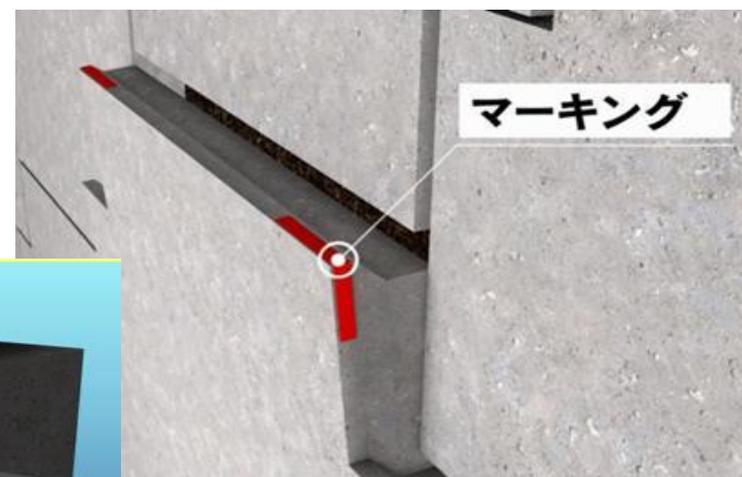
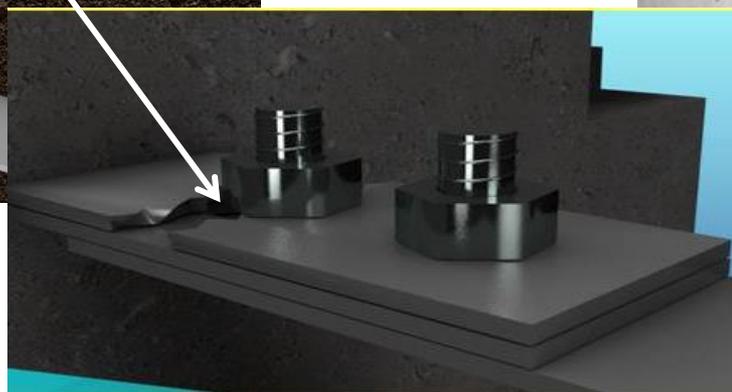
**本来の機能は損なわず機能を追加**

**テールアルメのマイナーチェンジのイメージ**

# 新技術：モニタリング部材の紹介①

## ①テールアルメFS

- 盛土内部の異常を外観から容易に確認する新技術。
- 追加したコネクティブに異常があれば、壁面材のマーキング（赤印）が見える。容易に外観目視できる構造。



# FSコネクティブ写真

特許第5899358号



FS-A < ストリップ < FS-B

## 新技術：モニタリング部材の紹介②

### ②KDパネル

- 壁の外側から盛土内部に簡単アクセス
- ストリップの引抜試験や、取出して腐食チェックが可能

